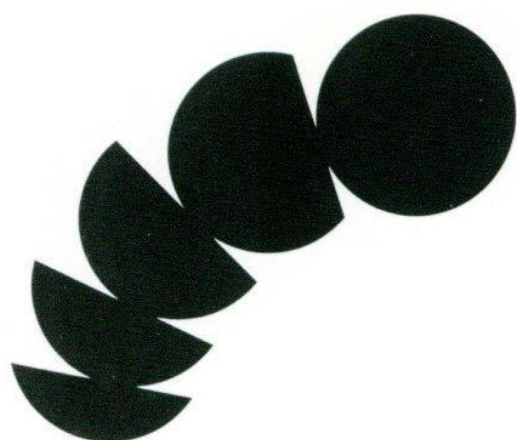


御中

第32回テニス学会

ご支援のお願いについて



JAPAN SOCIETY
ON TENNIS SCIENCE

日本テニス学会
2020年1月20日

1. 第 32 回テニス学会開催に際するご支援のお願い

日本テニス学会は、テニスに関する科学的研究の発展に貢献し、会員相互の情報交換や成果の実用化を促進するとともに、国際交流を図ることを目的に設立されました。そして、その目的を達成するために、『定期的学会大会の開催』、『学会誌(テニスの科学)の刊行』そして『目的に資する事業』を行っております。その目的達成のための活動の一つであり、かつ、本学会の最重要的活動であります『定期的学会大会の開催』である第 32 回テニス学会を開催するにあたり、ご支援を受け賜わりたく案内をさせていただきました。つきましては、何卒ご支援・ご協力下さいますようよろしくご検討ください。ご支援に対する対価につきましては、ご要望がありましたら、検討させていただきます。

ご支援内容について

協 賛 ① (1 社様)	20 万円
協 賛 ② (1 社様)	15 万円
協 賛 ③ (1 社様)	10 万円
協 力 (1 社様)	5 万円
広 告 (1 社様)	2 万円
寄 付 (1 口)	1 万円

ご支援に対する対価案

支援内容	協賛1	協賛2	協賛3	協力	広告	寄付
支援額	¥200,000	¥150,000	¥100,000	¥50,000	¥20,000	¥10,000
広告サイズ ※1	A4サイズ 1ページ	A4サイズ 1ページ	A4サイズ 1ページ	A4サイズ 1ページ	A4サイズ 半ページ	
バナー掲出	○	○	○			
説明会	○					
広告ブース	○	○				
会社名記載	○	○	○	○	○	○
学会無料参加 ※2	○	○	○	○2名まで	○2名まで	○1名まで
懇親会無料参加 ※3	○	○	○	○1名まで	○1名まで	
チラシ配布	○	○	○	下記条件 により可	下記条件 により可	

※1 A4サイズ1ページ(横210ミリ×縦297ミリ)、A4サイズ半ページ(横210ミリ×縦148ミリ)

※2,3 学会および懇親会の無料参加の人数について、協賛1から3の場合は大会事務局までご相談ください。

【支援対価の詳細】

1ページ広告：プログラムパンフレット内に1ページ分（A4）の広告

半ページ広告：プログラムパンフレット内に半ページ分（A4）の広告

バナー掲出：学会大会メインホール（教室）内

もしくはエントランス等での「のぼり」「横断幕」の掲出

説明会：学会大会中に御社説明会の時間の確保（およそ10-15分）

広告ブース：学会大会会場内に広告ブースの設置

会社名記載：プログラムパンフレット表紙への会社名の記載

【支援内容が協力・広告・寄付の際にチラシ配布を希望される場合】

商品提供もしくは学会参加者への試供品提供

→学会中および懇親会中におけるチラシ配布可

学会への有料参加→学会中のチラシ配布可

懇親会への有料参加→懇親会中のチラシ配布可

条件の詳細

	学会中	懇親会中
商品提供	○	○
学会有料参加	○	
懇親会有料参加		○

※学会および懇親会の参加費は参加される人数分とさせていただきます。

第 32 回 テニス 学 会 概 要

1) 概 要

期 日:2020 年 6 月 5 日(土)~6 日(日)

1 日目(土) 一般研究発表・講演・懇親会(予定)

2 日目(日) 講演・シンポジウム・一般研究発表・総会(予定)・テニス大会

会 場:北翔大学 〒069-8511 北海道江別市文京台 23 番地

学会参加費:正会員:5,000 円 学生正会員:3,000 円 非会員:7,000 円 非会員学生:5,000 円

参加者数:100-150 名を予定しております。

2) 大会事務局

〒069-8511 北海道江別市文京台 23 番地 北翔大学 黒田 裕太

TEL:011-387-3929

E-mail:conf-32@jsts.cc HP:<http://www.jsts.cc/>

3) 研究発表

研究発表・演題の申込みは、2020年4月17日を締切としております。

また、優れた研究発表を行った若手研究者・指導者に『研究奨励賞』を贈り、研究・指導の支援を行っております。

4) 講演・シンポジウム

予定ではありますが、以下の内容を計画中です。

1) 国内における国際テニス大会の事情

2) UNIVAS とテニス競技

3) 競技団体における強化の考え方

4) これからのコーチに求められるコーチングスキル

錦織選手や大坂選手の活躍に伴いテニス人気が高まっている昨今において、テニス界を取り巻く環境や社会事情について考える貴重な機会となることを願っています。

広告ブースについて

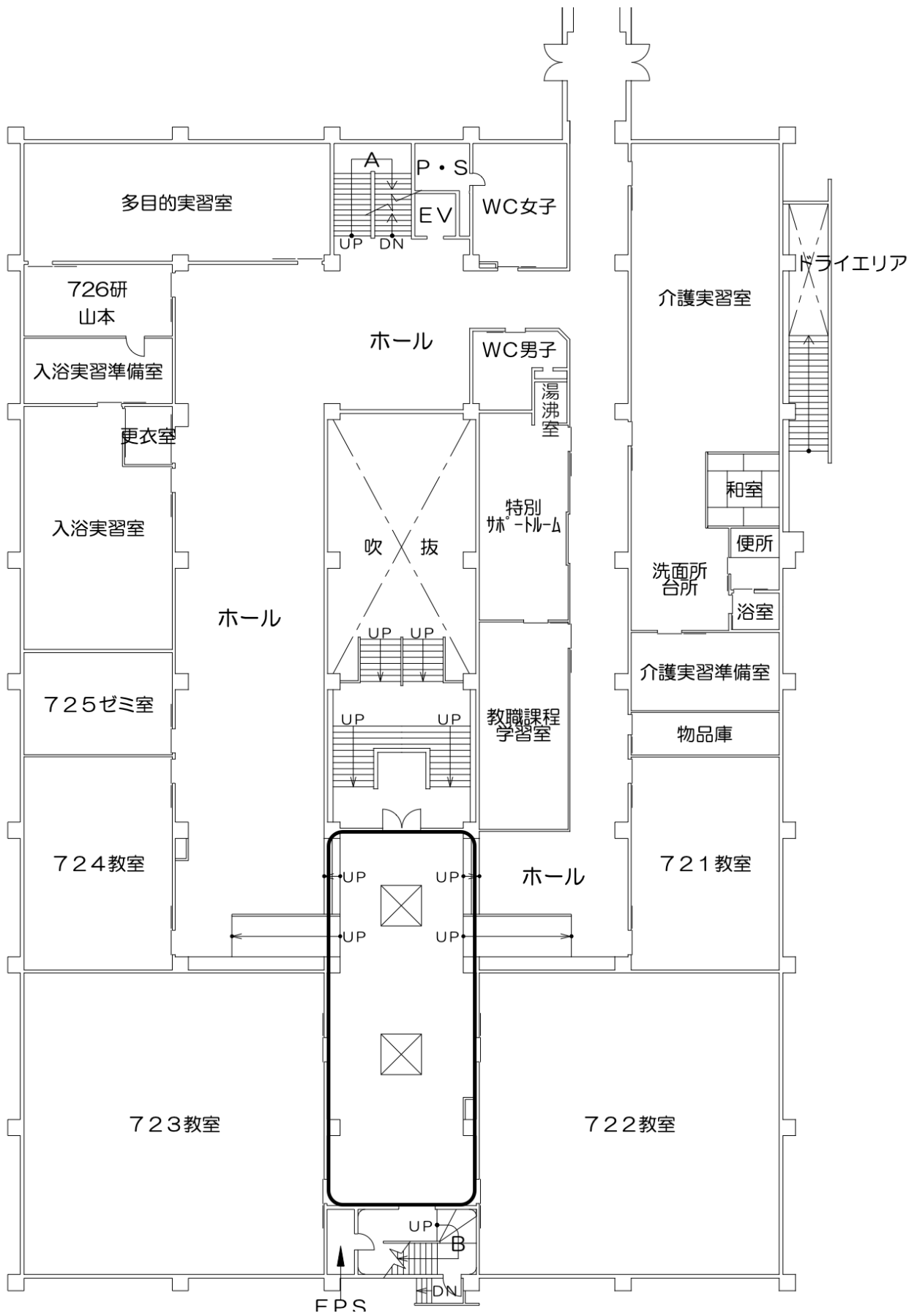
・次ページの概略図を参考にしてください。

黒枠の部分が使用可能です。

学会で使用する教室は、724, 721, 722, 723 教室です。

・モニターや PC、カメラなどの使用の際の電源を用意致します。

・長机 1 台、椅子 2 脚を用意致します。



2. ご支援いただけます場合のお申し込み方法

ご支援いただけます場合には、『第 31 回テニス学会支援書』にご記入の上、本学会大会事務局まで、ご郵送ください。また、ご不明な点がございましたら、本学会大会事務局までご連絡ください。

1) 支援書郵送先

〒069-8511 北海道江別市文京台 23 番地 北翔大学
第 32 回日本テニス学会大会事務局 黒田 裕太
E-mail: conf-32@jsts.cc

2) お申し込み期限

2020 年 4 月 17 日(金)までにお申し込みください。

3) 印刷原稿のご提出

学会大会プログラムに掲載させていただきます御社広告用の版下あるいはフィルムは、
2020 年 4 月 24 日(金)までに上記大会事務局までご送付ください。

4) ご支援金の送金について

事務局が申し込み手続きを確認次第、ご請求書を担当者に送付させていただきます。
2020 年 4 月 24 日までに請求書を送付させていただきますので、銀行振込にてご送金ください。

○ 銀行振込

北陸銀行 琴似支店(銀行コード:0144、店番号:521)
普通 5100540
黒田 裕太

5) 領収書について

学会大会終了後、領収書を担当者に送付させていただきます。

6) お問合せ先

〒069-8511 北海道江別市文京台 23 番地 北翔大学
第 32 回日本テニス学会大会事務局 黒田 裕太
E-mail: conf-32@jsts.cc

3. 日本テニス学会

日本テニス学会は、“現場で求められている研究を続けていきたい”という若手研究者によって、研究会という形で昭和 63 年に設立されました。その主旨は、

- ① 研究成果を現場に役立たせるために、実際にプレーや指導をしている選手・コーチと研究者が、一緒になって研究を進める。
- ② 現場と研究室との交流を深める場を提供し、研究成果の実用化につなげる。

ことであります。そして、これまでには、研究者だけではなく、選手・コーチ・一般のテニス愛好家の方など、幅広い分野の人たちが集まってきています。

そして、平成6年より本会は研究会から学会となり、平成8年には学術研究団体に登録されました。現在では、220 名ほどの会員数となっております。

日本テニス学会役員名簿

2020年度～2022年度

名 誉 会 長	宮下 充正	首都医校校長・東京大学名誉教授
会 長	友末 亮三	安田女子大学
副 会 長	梅林 薫	大阪体育大学
	高橋 仁大	鹿屋体育大学
顧 問	平田 聰	
	小山 睦美	
	佐藤 雅幸	専修大学
運 営 委 員		
審査担当	三浦 朗	県立広島大学
兼	西村 覚	島根大学
編集委員会	村松 憲	慶應義塾大学
	高橋 正則	日本大学
	後藤 光将	明治大学
	道上 静香	滋賀大学
	編集委員長	内城 寛子
	村田 宗紀	鹿屋体育大学
	石原 暢	玉川大学
企画担当	宮地 弘太郎	大阪体育大学
	村上 貴聡	東京理科大学
	黒田 裕太	北翔大学
	村上 俊祐	鹿屋体育大学
	出井 章雅	駒沢大学
庶務担当	田中 伸明	明治大学
	平田 大輔	専修大学
	北村 哲	びわこ成蹊スポーツ大学
	松本 健太郎	東海学園大学
	小屋 菜穂子	九州共立大学
事務局担当	武田 守弘	広島文化学園大学
監 事	水野 忠知	(株)小石川インドアテニスクラブ
	浅沼 道成	岩手大学
事 務 局	〒731-4312	
	広島県安芸郡坂町平成ヶ浜3-3-20	
	広島文化学園大学武田守弘研究室内	
	TEL : 082-884-1001(代)	
	FAX : 082-884-0600	
	E-mail : office@jsts.cc	

参考資料(これまでの学会大会について)

これまでに開催された学会(研究会)開催地と、シンポジウム等で取り上げられたテーマです。

<p>第1回テニス研究会(平成元年10月) 東京大学教養学部</p> <p>●ジュニアのためのトレーニング 山本秀一・栗山節郎・海野孝・笹原英夫・荒井貞光・佐々岡潔</p>
<p>第2回テニス研究会(平成2年9月) 東京大学教養学部</p> <p>●メンタル・トレーニングの理論と実際 児玉光雄(テニストレーニング科学センター) 西山征(園田学園女子大学) 高岡英夫(運動科学研究所) 白山正人(東京大学)</p>
<p>第3回テニス研究会(平成3年10月) 大阪体育大学</p> <p>●10年後のテニスの医・科学を考える 小浦猛志(宝塚テニスガーデン) 三浦朗(東北大学) 根本勇(日本女子体育大学) 辻田純三(兵庫医科大学)</p>
<p>第4回テニス研究会(平成4年9月) 吉田記念テニス研修センター</p> <p>司会:三浦朗(東北大学)</p> <p>●一地域における日本テニス研究会を媒介としたある啓蒙活動 塩野谷明(長岡技術科学大学)</p> <p>●マラソン選手の活躍とトレーニング科学 司会:三浦朗(東北大学) 小林寛道(東京大学)</p>
<p>第5回テニス研究会(平成5年11月) 大阪体育大学</p> <p>司会:中山厚生(天理大学)</p> <p>●テニスにおける思考力と精神力 坂本京一(GTS アカデミー) 佐藤雅幸(専修大学) 中山厚生(天理大学)</p>
<p>第6回テニス学会;第1回アジアテニス医・科学会議(平成6年9月) 広島経済大学</p> <p>司会:磨井祥夫(広島大学)</p> <p>●中華人民共和国における選手育成システム 郭 漢琴(元中国女子テニスチーム監督・深川市テニス協会強化委員長)</p> <p>●日本テニス選手の育成システム 浅沼道成(岩手大学)</p>
<p>第7回テニス学会(平成7年12月) (財)スポーツ医・科学研究所</p> <p>●最新世界テニス事情</p>
<p>第8回テニス学会(平成8年11月) 長岡市市民体育館</p> <p>司会:友末亮三((財)スポーツ医・科学研究所)</p> <p>●日本のテニス選手は世界でどこまで通用するか 藤瀬武彦(新潟国際情報大学) 堀内昌一(亜細亜大学) 海野孝(宇都宮大学)</p>
<p>第9回テニス学会(平成9年11月) 専修大学</p> <p>司会:佐藤雅幸(専修大学)</p> <p>●テニス起源論を巡る謎について 稲垣正浩(日本体育大学)</p> <p>●テニスでメンが食えるか? 中川智文(テニスクラシック編集部) 丸山薫(JTA ナショナルテニスセンター) 松原雄二(株)テニスクリエイション 佐藤雅弘(JAM プランニング)</p>

<p>第10回テニス学会(平成10年9月) 岩木山総合公園</p> <p>司会:村松憲(慶應義塾大学)</p> <p>●テニス学会の将来展望</p> <p>澁谷隆良(東洋英和女学院大学) 浅沼道成(岩手大学)</p> <p>友末亮三((財)スポーツ医・科学研究所)</p>
<p>第11回テニス学会(平成11年11月) 白百合女子大学</p> <p>司会:三浦朗(県立広島大学)</p> <p>●野球は科学を現場にどう生かしているか</p> <p>平野裕一(東京大学)</p> <p>司会:大島伸洋</p> <p>●ジュニア選手がトップを目指すにはどうすればよいか</p> <p>西野真一(JTA ナショナルトレーニングセンター)</p> <p>岩月俊二((財)吉田記念テニス研修センター) 田村信也(ブリヂストンスポーツ)</p>
<p>第12回テニス学会(平成12年11月) 職業能力開発総合大学校</p> <p>司会:</p> <p>●リングを利用した動作のアウトプットコントロールとサイバネティックスのトレーニング、など</p> <p>飯島庸一(S-CHALLENGE Training Program Works)</p> <p>司会:友末亮三(安田女子大学)</p> <p>●研究成果は現場でどう活用されているか</p> <p>高橋仁大(鹿屋体育大学) 道上静香(筑波大学) 田中伸明(東京電機大学)</p>
<p>第13回テニス学会(平成13年11月) 石川県こまつドーム</p> <p>司会:大島伸洋(トレーニング科学研究所)</p> <p>●日本の選手育成システム</p> <p>梅林薫(大阪体育大学) 田中伸明(東京電機大学) 大島伸洋(トレーニング科学研究所)</p>
<p>第14回テニス学会(平成14年11月) 東京電機大学</p> <p>司会:友末亮三(安田女子大学)</p> <p>●日本のテニスを考えるー環境、組織、理念、そして指導法についてー</p> <p>堀内昌一(亜細亜大学)</p>
<p>第15回テニス学会(平成15年11月) 東京都立短期大学</p> <p>司会:岩月俊二(北陸先端科学技術大学院大学)</p> <p>●日本のジュニア選手育成の問題点を探る</p> <p>宮尾英俊(名古屋高校) 笠原康樹(湘南スポーツセンター)</p>
<p>第16回テニス学会(平成16年10月) 白百合女子大学</p> <p>●強くなりたいあなたに贈る 100 ぐらいの法則ートレーニング編ー</p> <p>大島伸洋(トレーニング科学研究所)</p>
<p>第17回テニス学会(平成17年9月) リョーコーテニスクラブ</p> <p>司会:大島伸洋(トレーニング科学研究所)</p> <p>●テニスにおける二軸動作について</p> <p>小田伸午(京都大学)</p>
<p>第18回テニス学会(平成18年10月) 羽鳥湖レジーナの森テニスクラブ</p> <p>司会:浅沼道成(岩手大学)</p> <p>●テニスにおけるスポーツ科学の貢献ー現場にどのような貢献がなされているかー</p> <p>岩嶋孝夫(武蔵工業大学) 道上静香(滋賀大学)</p> <p>平田大輔(専修大学) 吉田友佳(元プロテニスプレイヤー)</p>

第19回テニス学会(平成19年6月)、第8回テニスフォーラムとの共催 兵庫医科大学

- 講演「コーチングを考える -サッカー協会の試みから-」
講師:田嶋幸三氏(財団法人日本サッカー協会専務理事)
- 「テニスにおけるスポーツ科学の貢献 -その現状と今後に向けて-」
司会:浅沼道成(岩手大学)
井上直子(青山学院大学) 岩嶋孝夫(武蔵工業大学)
道上静香(滋賀大学) 田中伸明(東京電機大学)

第20回テニス学会(平成20年11月) 国立スポーツ科学センター、ナショナルトレーニングセンター
第20回記念大会『今、テニスでできること』

- 基調講演「生涯スポーツとしてのテニス -そのあるべき姿-」
講師:宮下充正(日本テニス学会会長、東京大学名誉教授)
- 特別講演「今後スポーツが向き合っていくべきこと」
講師:吉田友佳
- 「コーチにとって必要な資質とは」
コーディネーター:西村覚(島根大学)
堀場雅彦(ホリバイインターナショナルテニス) 丸山弘道(吉田記念テニス研修センター)
宮地弘太郎(関西国際大学) 浅沼道成(岩手大学)
- 対談「古武術からの発想:スポーツからロボットまで」
司会:岩月俊二(北陸先端科学技術大学院大学)
甲野善紀(松聲館) 川副嘉彦(埼玉工業大学)
- 教育講演「JISSにおけるスポーツ科学的サポート」
講師:平野裕一(国立スポーツ科学センター)

第21回テニス学会(平成21年12月) 那覇レクセンター

- 講演「沖縄での生涯スポーツとしてのテニスの普及」
講師:宮下充正(日本テニス学会会長、東京大学名誉教授、首都医校校長)
- シンポジウム「沖縄から世界へ！」
コーディネーター:高橋正則(日本大学)
玉城智(沖縄県テニス協会副理事長) 小高邦子(沖縄県立首里東校等学校)
小島弘之(テニスカレッジ ミュー) 澁谷隆良(東洋英和女学院大学)
- テニスクリニック「沖縄のジュニアを対象とした効果的な指導法」
司会:友末亮三(安田女子大学)
澁谷隆良(東洋英和女学院大学) 宮地弘太郎(関西国際大学)

第22回テニス学会(平成22年12月) 明治大学和泉キャンパス

- 講演「画像でたどる日本テニス史」
講師:岡田邦子(財団法人日本テニス協会)
- シンポジウム「テニスを科学するとは？」
コーディネーター:高橋仁大(鹿屋体育大学)
前田明(鹿屋体育大学) 凶子浩二(筑波大学) 道上静香(滋賀大学)

第23回テニス学会(平成23年12月) 大阪体育大学

- 講演「50歳からの健康づくり -生き生きと暮らすために-」
講師:宮下 充正(日本テニス学会会長)
- シンポジウム「日本のテニスを世界のトップへ！」
コーディネーター:浅沼道成(岩手大学)
沢松奈生子(元プロテニスプレーヤー) 宮地弘太郎(関西国際大学)
金重徹平(Game Changer) 梅林薫(大阪体育大学)

<p>第24回テニス学会(平成24年12月) 島根大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ●シンポジウム「テニスを科学するとは?その2」 コーディネーター:高橋仁大(鹿屋体育大学) 三浦朗(県立広島大学) 村松憲(慶應義塾大学) 梅林薫(大阪体育大学)
<p>第25回テニス学会(平成25年12月) 日本大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ●特別講演「テニスとこころ〜11年間のプロ生活で経験したこと〜」 講師:中村藍子(元プロテニスプレーヤー) ●シンポジウム「テニスと心理サポート」 関矢寛史(広島大学) 村上貴聡(東京理科大学) 田中伸明(明治大学) 永尾雄一(日本障がい者スポーツ協会)
<p>第26回テニス学会(平成26年12月) 東京理科大学野田キャンパス</p> <ul style="list-style-type: none"> ●特別講演「世界で活躍するには!」 講師:遠藤愛(東京経済大学、元プロテニスプレーヤー) ●シンポジウム「テニスとソフトテニスの融合の可能性を探る!」 高橋正則(日本大学) 石井源信(東京工業大学名誉教授) 緒方貴浩(早稲田大学大学院) 武田守弘(福山平成大学)
<p>第27回テニス学会(平成27年12月) 鹿屋体育大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ●特別講演「『スポーツの実践研究』が市民権を得るためになすべきこと」 講師:山本正嘉(鹿屋体育大学) ●特別講演「鹿屋発!新しいコンセプトの「鹿屋アスリート食堂」の展開」 講師:田畑綾美(株式会社オキス・管理栄養士)
<p>第28回テニス学会(平成28年6月) 岩手大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ●特別講演「JTA テニス環境等調査から見えてきたこと」 講師:澁谷茂樹(笹川スポーツ財団) ●シンポジウム「日本のテニス環境を考える」 浅沼道成(岩手大学) 西村 覚(島根大学) 富岡好平(エストテニスクラブ) 澁谷茂樹(笹川スポーツ財団)
<p>第29回テニス学会(平成29年12月) 慶應義塾大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ●特別講演「テニスで学ぶ術」 講師:植田 実(日本テニス協会強化本部本部長) ●シンポジウム「データ活用最前線」 三橋大輔(筑波大学) 池田 亮(日本テニス協会強化本部) 坂井利彰(慶應義塾大学) 植田 実(日本テニス協会強化本部本部長)
<p>第30回テニス学会(平成30年6月) 専修大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ●特別講演「プロ野球で生き抜くために必要な事-Be Ready-」 講師:鈴木尚広(元読売ジャイアンツ・野球解説者) ●シンポジウム「目指すべきよい指導とは?:それぞれの現場の How to Coach」 伊藤雅充(日本体育大学) 中嶋康博(VIP・TOP インドアテニススクール) 横松尚志(日本テニス協会) 宮地弘太郎(大阪体育大学) 斎田悟司(株式会社シグマクス 2004年アテネパラリンピック金メダル) ●企画セミナー「心理カウンセラーから学ぶ話の聴き方・話し方」 金子玲子(専修大学/大学カウンセラー・臨床心理士) ●オンコートセミナー「ソフトテニス講習会」 篠原秀典(日本体育大学) 小林幸司(ミズノ)

第 31 回テニス学会(令和元年6月) びわこ成蹊スポーツ大学

- 特別講演「国内国際大会の必要性について」

講師:堀内昌一(亜細亜大学)

- 特別講演「日本卓球協会のこれまでの取り組みについて」

講師:前原正浩((公財)日本卓球協会 副会長)

- パネルディスカッション「これからのコーチに求められるコーチングスキルについて」

伊藤リナ((公財)日本オリンピック委員会ナショナルコーチアカデミーアシスタントディレクター)

前原正浩((公財)日本卓球協会 副会長)

第 32 回テニス学会支援書

2020 年 月 日

第 32 回テニス学会を下記の通り、支援します。

1. 会社・団体名	
2. 所在地	
3. 電話番号	
4. ご担当者	印
5. ご担当者 E-Mail アドレス	
6. 支援内容 (○をお付け下さい)	
協賛① (20万円)	
協賛② (15万円)	
協賛③ (10万円)	
協 力 (5万円)	
広 告 (2万円)	
寄 付 (1万円)	